

厚さわずか0.9mmの最新ICタグシステム

薄さで用途広がり、ボタン型より低コストに

需要が伸びるユニフォームレンタル市場。この対応に、ユニフォームラインの新設や増設を図るリネンサプライ工場も多いが、その管理技術として、今年6月のテクスケア・インターナショナル(フランクフルト)では、RFID関連のシステムが盛んに提案されており、自動化や効率化を目的に、ICタグの普及が進んでいる。

都内大手結婚式場やレストラン、ホテルなどを対象にユニフォームレンタル事業を展開する(株)アサヒケーティー(東京都武蔵村山市、前川実代表取締役社長)では、9年前からフレックス・システム(株)(東京都立川市、熊田善和代表取締役社長)のICタグシステムを使用。また、現在のボタン型ICタグから近く、フレックス・システムが提案する薄型最新タグに転換予定という。

ICタグによる効率化と差別化

アサヒケーティーは元々、ホームクリーニングをしていたが、約20年前に産業クリーニング・ユニフォームレンタルへと転換。また、客室整備業やビル清掃、ダスキン事業なども展開している。

当初、ユニフォーム管理は手書き伝票で、9年前の管理システム導入の際は「バーコードは洗濯により印字が薄くなって読み取れなくなるなど効率が悪く、人件費もかさむ」と、バーコードでなくICタグへと転換を図った。これは、他社との差別化という狙いもあったようだ。

工場では、入荷と出荷の際にICを読み込んでいる。



▲都内大手結婚式場や有名レストラン等のユニフォームを扱うアサヒケーティー



▲9年前にICタグシステムを導入。写真は出荷時の読み込み作業で、5枚重ねてスキャン。入出荷管理とともに、納品書・請求書発行にも連動している

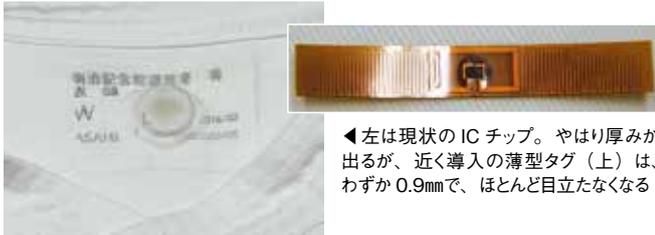
出荷時の作業を見ると、たたまれたユニフォームを5枚重ねて読み込んでいる。これにより、「入出荷の情報を明確に示すことができるようになり、品物が届いていないというクレームがなくなった」と評価する。また、クリーニング品で破れなどがあった場合も、経年管理により劣化であることを示し、交換を提案できるメリットもある。ほか、納品書や請求書発行の事務作業も合理化されたという。

薄くて低コストの最新ICタグ導入へ

現在のICタグはフランス製のボタン型のもので、5年間または200回洗濯の保証付き。実際には壊れないし、安心して使用できているようだ。ただ、厚みがあることから熱圧着の貼り方によっては着用や洗濯の繰り返しで脱落してしまうこと、またプレス仕上げによりボタン形状が浮き出してしまう課題もあったという。

そこで、フレックス・システムが新たに提案したのが、国内メーカーが開発した薄型のICタグ。薄さ、柔軟性を兼ね備えたUHF帯タグで、ボタン型の厚さ2.8mmに対し、最新タグは最も厚みがあるところで0.9mm、ほか薄いアンテナ部分は0.1～0.2mmだという。また、耐久性もJIS規格をクリアしているほか、ボタン型より1個あたり70～80円安くなるコストメリットも特徴。

「お客様の前にも出られるシェフのコック帽は完全立体で仕上げるが、ボタン型は出っ張るので今はICタグを付けていない。新しい薄いタグならこれも可能になる。



◀左は現状のICチップ。やはり厚みが出るが、近く導入の薄型タグ(上)は、わずか0.9mmで、ほとんど目立たなくなる

活用の幅が広がるし、今より低価格で貼り直しなどのランニングコストも下がる」として、採用を決めた。

UHF帯の最新タグは送信距離も長いことから、読み取りの方法もより効率的なものになっていくと見られるが、読み取りの環境は工場ごとに違うため、誤読を防ぐためにも微調整が必要という。アサヒケーターの現在のスキャンキャビネットも、微調整により同社の現場に合った仕様になっており、フレックス・システムは、この高い調整技術が強みだとしている。

同社では、この薄型タグを活かしたユニフォームのIC管理システムを、ユニフォームレンタル分野において普及を図っていく。

勤怠管理等のICカードシステムも

フレックス・システムでは、このICタグシステムの

ほかにも、入退室や勤怠管理に利用するICカードシステムも展開している。

例えば、病院では前日着た白衣と違うもの、つまりクリーニングされた白衣を着ていないと更衣室のカギが開かないという衛生管理や、薬品庫を誰がいつ開けたかがわかるというシステムが実用されている。また、老人ホームでは、玄関にフロアマット式のアンテナを設置し、職員、入所者の衣類のタグやICカードを読み取り、自動ドアをロックして外部への徘徊を防ぐという。

ほか、ICカードの社員証による勤怠管理、給与計算、PCの使用許可など、業務の効率化やセキュリティ強化につながるシステムを構築。ユニフォーム管理システムとともに、提案を行っていく。

※製品に関する問合せは、TEL042・521・3301 まで。

フレックス・システム株式会社

東京都立川市錦町 2-1-32 明代ビル 2F TEL042-521-3301
代表取締役社長 熊田 善和

1990年設立。コンピュータ利用分野に関する調査、研究、及びその受託業務。コンピュータ関係のシステム設計、プログラム作成及びメンテナンス等に関する業務。コンピュータソフトウェアの製造及び販売。コンピュータハードウェアの販売。

<http://www.flex-s.com>

厚さわずか0.9mm!! 薄型ICタグ登場



ユニフォーム向け ICタグ管理システム

〈薄くて目立たない国産ICタグ〉



いま主流のボタン型



弊社採用の最新型

薄手のシャツや帽子もOK

しかもボタン型より低価格!!

- UHF帯で長い通信距離、複数枚自動読み込みで効率化
- JIS規格クリアの高い耐久性能
- 各設置環境に応じた調整で最適なインターフェイス構築
- 圧着シートからの脱落がなく、貼り替えもラクに
- 入出荷管理を効率化、納品書・請求書発行にも連動
- 回転履歴など管理データ活用により収益アップへ

FLEX フレックス・システム株式会社

〒190-0022 東京都立川市錦町2-1-32 明代ビル2F
TEL.042-521-3301(代) FAX.042-521-3303
E-mail : flex-system@sam.hi-ho.ne.jp